

令和7年度 藤野地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和7年11月11日（火）午後6時から午後7時35分まで
- 2 場 所 藤野総合事務所4階会議室
- 3 市側出席者 本村市長、奈良副市長、椎橋緑区長、岡田政策部長、廣田まちづくり推進部長
佐藤緑区副区長、萱野市民局長
- 4 出席委員等 20人
- 5 傍聴者 6人
- 6 懇談会の要旨

概要	路線バス撤廃に伴う交通の課題解決について
内容	<p>藤野地区は、本市の北西部に位置し、中央部を東西に走るJR中央線、国道20号、中央自動車道が走り、東京都心から約1時間という立地的には恵まれた条件でありながら、地域の80%を山林が占め、県民の水がめである相模湖を有する自然豊かな地区である。</p> <p>藤野地区の人口は減少傾向にある一方、世帯数はほぼ横ばいであることから、高齢者の単身または夫婦のみ世帯が増加している可能性が高いと思われ、これは、これまで家族内で解決できていた移動のサポートが難しくなり、個々の世帯が交通弱者化するリスクをはらんでいる。</p> <p>移動の課題は、バス路線だけの問題ではなく、免許を返納した高齢者が日々の買い物や通院に苦勞する、子育て世帯が子どもの送迎に負担を感じるなど、中山間地域に暮らす多くの住民が、様々な場面で移動の制約に直面している。</p> <p>高齢者の主な移動目的は、通院、買い物、友人との交流など、多岐にわたり、決まった曜日や時間帯の移動だけでなく、突発的な移動ニーズも存在する。</p> <p>子育て世帯では、通学はもちろん、塾や習い事、部活動など、子どもの成長段階に応じて移動のニーズは変化し、時間や場所も様々である。また、交通が不便になれば、子どもたちが地域から転出してしまうことも想定され、地域の暮らし全体に関わってくる。</p> <p>観光の観点からは、藤野地区には毎年約10万人が訪れている「陣馬山」や、約11万人が訪れている「藤野やまなみ温泉」など、多くの観光地がある。そこに来ていただいている観光客が不便になり、藤野地区を訪れることを懸念して観光客が減少することが想定される。</p> <p>交通の問題を解決することは、地域の孤立を防ぎ、住民の社会参加を促し、子どもから高齢者まで、誰もが安心して移動できる環境を整える未来への投資だと考えている。</p> <p>今までも、市と地域で「乗合タクシー利用促進協議会」を立上げ、利用者増加のために協議し、改善を図っていただいていたが、利用者は少ないままであることから、どうすれば利用者が増加していくのかについて懇談したい。</p>
地区の取組状況等	<p>テーマの内容について説明させていただく。</p> <p>藤野地区の人口は減少傾向にある一方、世帯数はほぼ横ばいであることから、高齢者の単身または夫婦のみ世帯が増加している可能性が高いと考えている。</p> <p>これは、これまで家族内で解決できていた移動のサポートが難しくなり、個々</p>

	<p>の世帯が交通弱者化するリスクをはらんでいると思う。</p> <p>移動の課題は、バス路線の問題だけではなく、免許返納した高齢者が日々の買い物や通院に苦勞するとか、子育て世帯が子どもの送迎に負担を感じるなど、中山間地域に暮らす多くの住民が、様々な場面で移動の制約に直面している。</p> <p>市でも色々ご検討いただき、プラン立てていただいているが、金銭面や時間帯の問題など、まだまだ改善していただきたい点がある。</p> <p>高齢者の主な移動目的は、通院、買い物、友人との交流など、多岐にわたっているため、決まった曜日や時間帯の移動だけではなく、突発的に移動したいということも起こりうる。</p> <p>子育て世帯では、通学だけでなく、塾や習い事、部活動、子どもの遊びなど、子どもの成長段階に応じて移動のニーズは変化し、様々な課題が出てくる。</p> <p>交通が不便になれば、子どもたちが地域から転出してしまうことも想定され、地域の暮らし全体に関わってくる。</p> <p>観光の観点からは、藤野地区には毎年約10万人が訪れている「陣馬山」や、約11万人が訪れている「藤野やまなみ温泉」など、多くの観光地が存在するが、観光地までのバスが無いと、観光客が不便になり、藤野地区に訪れる方も減少してしまうと思う。</p> <p>交通の問題を解決することは、地域の孤立を防ぎ、住民の社会参加を促し、子どもから高齢者まで、誰もが安心して移動できる環境を整える未来への投資だと考えられる。</p> <p>現在、市と地域で「乗合タクシー利用促進協議会」を立ち上げ、利用者増加のために協議し、改善を図っていただいているが、どうすれば利用者が増加するのかを懇談したいと思い、こちらのテーマとさせていただいた。</p> <p>テーマに関する藤野地区の取組状況であるが、佐野川、藤野台、篠原の3地区で、高齢者を対象に、買い物や病院への送迎を実施しているところである。</p>
<p>市の取組状況等</p>	<p>始めに、藤野地区を含む中山間地域の公共交通に関する状況や市の取組状況等について、ご説明させていただく。</p> <p>藤野地区では、神奈中バスや富士急バスが運行するバス路線について、公費負担により維持してきたところである。加えて、吉野地区や菅井地区で乗合タクシーを、篠原地区でデマンドタクシーを運行し、バス路線を補完してきたところであるが、昨年6月に神奈川中央交通から運転士不足が深刻化しており、2030年度には運転士が25パーセント不足する見込みであることから、バス路線の統廃合や他の交通モードへの転換を含めた協議の申出があった。</p> <p>これまで三ヶ木より西側の13路線について協議を行ってきたところで、市では、バス路線の維持を強く求めながら粘り強く協議を進めてきた。</p> <p>その結果、三ヶ木・相模湖駅間の2路線については、路線の維持について合意を得ることはできたが、その他11路線については、路線の維持は困難とのことと、令和9年3月末までには廃止される見込みとなっている。</p> <p>市としては、バスに代わる交通として、これまでの乗合タクシーの運行エリアを拡大するとともに、AIを活用した、より効率的な運行を行う実証運行を10月1日から開始したところである。</p> <p>また、観光客への対応については、基本は乗合タクシーをご利用いただくが、</p>

	<p>低山の登山人気が高まっている中、陣馬山は令和6年度の民間調査において第3位に選ばれている人気の山となっており、登山シーズンの土・日・祝日にはバス1台では乗車しきれず、臨時便を出して対応しているものと承知している。</p> <p>こうしたことから、藤野駅から和田までの区間で、令和8年5月から6月中旬、9月下旬から12月中旬の登山シーズンの土・日・祝日に、登山客用の貸切バスを走らせる実証運行の実施を検討している。</p> <p>あわせて、陣馬山の麓(ふもと)に駐車場を整備して、藤野から登山し、下山しただけの環境を整えていく。</p> <p>実証運行を行っている間にも運行ダイヤの見直しや停留所の新規設置等の検討を行い、地域の皆様と共に、地域の実情に応じたものとなるよう取り組み、令和9年4月からの本格運行に繋げてまいりますので、引き続き、皆様のご理解、ご協力のほど、よろしくお願ひしたい。</p> <p style="text-align: right;">(奈良副市長)</p>
--	--

懇談内容	
地区の発言	<p>乗合タクシーの乗車方法について、時刻表がある便と、時刻表がなく自身で予約する便がある。高齢の方から時刻表がないと予約や呼び出しするのに気を使ってしまう、利用しづらいという声がある。誰もが気兼ねなく、利用できるにはこういった課題にも取り組んでいかなければならないと思う。</p>
市の発言	<p>様々な乗り方があるが、路線バスの代替については定時定路線で時間を決めて運行するのが良いと考えているが、現在行っている実証運行の中で、限られた資源を有効に活用するために、皆さんの意見を踏まえて、色々な組み合わせの運行方法を試しながら不具合があれば調整し、実証運行の終了する令和9年3月末までに一番良い形が実現できるように取り組んでいきたい。</p> <p style="text-align: right;">(廣田まちづくり推進部長)</p>
地区の発言	<p>藤野地区は山間部が多く、運転免許を返納する高齢者が予約しやすいように、また、子供がスムーズに利用できるようお願いしたい。</p>
地区の発言	<p>利用者の増加につながるように、藤野地区の潜在的なニーズに合った移動手段のアンケートなどを実施していただくことは可能か。</p> <p>また、藤野地区では、路線バス以外に、スクールバス、福祉施設、ゴルフ場、自動車教習所、また民間企業等の送迎バスが走っている。こういった車両の空き時間や稼働状況から共有の可能性を調査することで、新しい効果的な運行計画の立案はできないか。</p>
市の発言	<p>ニーズ調査については、実証運行の中で実施させていただく。また、地域の輸送資源の活用については、地域との協議の中でも意見交換を行っている。今出た資源以外にも、交通空白時間帯でのライドシェアなど、様々な取組の組合せを試す中で最適解を求めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">(廣田まちづくり推進部長)</p>
地区の発言	<p>アンケートについては、今だけではなく5年後、10年後の暮らしも踏まえた視点で、交通だけでなく買い物の問題等も含め、暮らし全般のアンケートとして実施した方が良いのではないか。</p> <p>交通の問題は全国的な課題であるので、例えば2種免許を持っていなくても短距離であったら運転できるような、少し範囲を広げた規制緩和などの検討はでき</p>

	<p>ないか。他の地域でも起きている問題なので、事例に基づいて検討できたらよいと思う。</p> <p>また、今の乗合タクシーの事業者は旧市から藤野に来ていただいております、行き帰りで1時間程度かかっており、事務所までの往復時間が原因で、藤野での運行時間が短くなっているということがあれば、地元で運行事業者を創立するなり、NPOを受け皿とするなどは考えられないか。</p>
市の発言	<p>アンケートの内容については、実施前に地域の皆様と相談して進めていきたい。また、規制緩和については、国の取組も注視しながら取り組んでいく。交通問題は全国的なものであることは認識しているので、他都市の事例にもアンテナを高く張って、調査等しながら進めていきたい。</p> <p>事業者に関する質問については、交通再編に関する取組は、継続して進めていくので、その中で議論していきたい。(廣田まちづくり推進部長)</p> <p>アンケートについて補足させていただく。暮らし全般のアンケートということなので、交通部門だけの話ではないと思う。緑区役所も一緒になって取り組んでいきたい。また、これから総合計画の策定を進める中でアンケートを行うことになると思うが、その際に項目を入れていくなども考えられる(椎橋緑区長)</p>
地区の発言	<p>アンケートの項目についてはまちづくり会議でも協力させていただきたい。</p> <p>利用促進会議の構成員に高齢者が多いように感じる。子育て世代がいるまちづくり会議にも意見を聞いていただきたい。</p>
地区の発言	<p>昔は藤野地区に小学校が10校あった。これは地区内に集落が点在していることを表している。路線バスがなくなると、部活の朝練や練習試合などに参加することが困難となる。藤野の地域特性を考慮して、保護者の負担が少なくなるように検討を進めてほしい。</p>
地区の発言	<p>私もバスで通学していたが、その頃は満員だった。現在、バスは1～2人しか乗っていない時も多くある。少子化やマイカー利用が多くなっており、バス利用者が減少し、赤字路線になってしまう。</p>
地区の発言	<p>中学生の運賃について、現在実証運行されている乗合タクシーでは、小学生の運賃が50円、中学生は通常料金の500円となっている。神奈中バスでも中学生から通常運賃となっていることは承知しているが、塾や習い事など、バスを利用している中学生も多いため、金銭的に大きな負担になる。義務教育の期間は一律50円にするなどの対応をご検討していただきたい。</p>
市の発言	<p>乗合タクシーの料金設定はタクシーより安く、バスより高いという考え方である。現在の料金で負担が軽いとは思っていないが、他の交通機関との公平性の観点から、今時点で小学生と中学生を同額にすることは、難しい状況である。</p> <p>(廣田まちづくり推進部長)</p>
地区の発言	<p>実証実験の中で、統計的な調査以外に、現地の暮らしの動向を調査する計画はあるか。現在は藤野駅から北か南へ行く路線しかないが、駅を越えてスーパーや病院へ行くという路線などのニーズが高いのではないか。</p>
市の発言	<p>現在は、バス路線の代替という観点で検討しているが、乗合タクシーの利点は地域の皆様との対話の中で決めていけることなので、実証運行の中で、より良いものにしていくための検討をしていく予定である。(廣田まちづくり推進部長)</p>

地区の発言	乗合タクシーの実証実験について、周知ができていないと感じる。実証実験が終わる前に地域住民の理解を深めるということを考えていただきたい。また、路線として藤野駅を通過する外出だと2路線分の料金がかかるため、生活の動線を検討していただきたい。
市の発言	周知については、ご理解いただけるように努めていきたい。 駅を中心とした路線よりも生活の実態に合わせた路線の検討について、現在は路線バスの代替という部分で進めているため、駅を中心とした路線としているが、実証運行の中で地域の皆様と対話しながら、より良いものを目指していきたい。 (廣田まちづくり推進部長)
地区の発言	今回の課題は藤野地区で起こっているが藤野地区独自の問題としてではなく、相模原市全体の問題として捉えていただきたい。
市の発言	今回のテーマであるが、中山間地対策ということで、全庁的に12個のパッケージで取り組んでいる。また、本日の意見等も踏まえてリパッケージしながら進めていく。陣馬山の臨時便は4往復させていただく予定であるが、その後も話を伺いながら、ニーズに合わせた形を作っていきたい。 (岡田政策部長) 交通の問題は相模原市全体の問題として捉えている。現在は三ヶ木以西を対象として取組を進めているが、今後は三ヶ木より東側の全市を対象として検討することになるため、それぞれの地域にあった交通を検討していく。 (廣田まちづくり推進部長)
地区の発言	何か具体的な取組があれば教えていただきたい。
市の発言	暮らしの実態に合わせた路線ということについては、今の段階で具体的な取組はお答えできないが、まちづくり会議などもパートナーとして議論させていただき、地域との対話の中で実態を理解していきたい。 (廣田まちづくり推進部長)
地区の発言	観光の面で、第3次観光振興計画に、陣馬山以外にも藤野に関わることは出てくるが、陣馬山以外の観光エリアをどのように捉えているか。また、バスの有無によって観光に関する取組は変わってくると思うが、今後の観光振興計画についてはどのように考えているのか。各部署対応いただいているが、部署を超えて横断的に藤野の展望についてお聞かせいただきたい。
市の発言	今後の展望についてだが、甲州街道をテーマにしたコンテンツができないか検討している。そういったことを進めていく中で、今まで藤野駅で降りなかったような方を呼び込めるような、面的な取組を行っていければ良いと思う。 また、藤野そのものの魅力発信についても、地域の皆様のご意見をいただきながら、多くの人に来ていただけるように取り組んでいきたい。 (岡田まちづくり推進部長)
地区の発言	暮らしの実態が駅起点でないことは間違いないと思う。アンケートなども全世帯に対して、数年後も意識した回答ができるようにしないと実態が見えてこないと感じている。例えば買い物について、移動販売で賄えたとしても、商品の種類が少ないということや、スーパーに行ったときに偶然友人と出会い話ができることもある。そんなメンタル的な部分も鑑みていく必要があると考えている。そういったことも踏まえたアンケートを検討していただきたい。
市の発言	いただいた意見を踏まえて進めていきたい。買い物や病院の頻度、同居人の有

	<p>無など、世帯によって状況は様々であると思うので、色々教えていただきながら取り組んでいきたい。 (廣田まちづくり推進部長)</p>
地区の発言	<p>参考にお伝えさせていただくが、自転車が増えると渋滞が増えるとか、登山客が増えると環境に悪影響があるなど、今までにないようなリスクが生じるため、安易に判断せずに人だけでなく周囲の環境などにも配慮していただきたい。</p>
地区の発言	<p>実証実験の中で検討していくということであるが、実際にいつどのように意見を言えるかなどが分かると安心できるし、意見を伝えやすい。</p> <p>陣馬山だけでなく、観光資源も様々あるので、観光客が乗合タクシーを利用してしまうと、地元が利用できないし、一方で観光客が利用できないと観光客が来られない等、様々課題がある。また甲州街道の土日の渋滞や地域の駐車場の不足などの課題もある。そのような点についても、まだまだ議論していきたい。</p>
市の発言	<p>対話の場ということについては、実証運行の中で、何かを決めなければいけないタイミングがあるので、そういった時に利用促進協議会やまちづくり会議に意見を聞いていきたい。また、段階的にバスが減ってこないと実態が見えてこないと思う。ロードマップのようなものを示す必要があると考えている。 (廣田まちづくり推進部長)</p> <p>今回、登山客用の貸切バスを走らせることの趣旨として、観光客が地域の皆様の乗合タクシーの利用を圧迫しないようにという意味もある。他の観光資源へのアプローチ等についても、アンケート等でニーズを確認して進めていく。</p> <p>駐車場の関係でいうと、駐車場の新設予定はある。バスだけでなくマイカーで来ていただけるようなことも考えている。生活道路の圧迫という話もあったので、駐車場の管理ということも踏まえて考えていく。 (岡田政策部長)</p> <p>すべての課題に満点で向かうのは不可能であると思うが、取組によって良くなることもあれば、悪影響が出ることもある。ひとつひとつ話を聞きながら、細かいことからやっていきたい。皆様に頼られる区役所やまちづくりセンターでありたいと考えている。引き続き皆様と対話して進めていきたい。 (椎橋緑区長)</p>
地区の発言	<p>自動車、自転車、歩行者などが駅周辺に集まることで、様々な悪影響が出てくることが考えられる。そのことも踏まえて検討していただきたい。</p>
地区の発言	<p>乗合タクシーの問題は市に任せるのではなく、住民から提案していくことが必要であると思う。これからも様々な意見を出していきたい。</p>

市長の感想等	<p>交通問題は全市的な課題である。まずは、三ヶ木以西の神奈中バスの路線廃止から始まるが、最終的には全市の交通の在り方について考えていく必要がある。</p> <p>中山間地域の交通については、総合計画も新たに策定していくので、暮らしも含めたアンケートを実施し、地域の皆様が何を望まれ、何に困っているかを勉強していかなければならないと思っている。この会議で終わりではなく、分野横断的にチームを作って振り返りを行い、1年を通して皆様と対話をさせていただきたいと思っている。</p> <p>例えばライドシェアについても、様々な種類があり、この地域でも検討できるものがあると思っている。また、南区では乗合タクシーの定額乗り放題はできな</p>
--------	---

いかということで、交通政策課で研究を行っている。

また、乗合タクシーの利用方法について、もう少し皆様にわかりやすく、定時定路線とするのか、予約制にするのかなど皆様に親しまれるように検討してまいりたい。

ライドシェアや民間の交通機関との連携なども検討していきたい。ゴルフ場の送迎バスの空き時間等もあると思うし、先日も津久井地区の幼稚園から送迎バスを活用してほしいという提案があった。早速担当が伺わせていただいたところ、椅子が幼児用ということで、大人が座ることは難しいという結果となったが、提案いただいたことは非常にありがたい。そのような意見をヒントとして、民間のバスの活用なども考えていく必要があると思っている。

5年後10年後のアンケートについても総合計画の中で考えていきたいと思っており、まちづくり会議をパートナーとして検討してほしいという提案も非常にありがたいと思っている。

また、ライドシェアや乗合タクシーの定額乗り放題のようなインフラに関しても、地域に合うかは分からないがチャレンジしていきたい。

地域にたくさん学校があったことを思うと、藤野地区は集落が点在しているということを改めて認識させていただいた。

中学生の料金については、もう少し検討が必要であると考えている。まだ、料金は決定ではないので、そのような声をどんどん上げていただきたい。

生活圏のポイントのご意見なども、とても参考になった。今日は多くの意見が自由に出て良かったと思っている。これからも、暮らしにあった実態を聞かせていただきたいと思っている。行政の横串をしっかりと刺して、市民の皆様がどうしたら幸せかということをもみんなで考えていきたい。